

SEMINAR SCHEDULE	9/16 (金)	9/17 (土)	9/18 (日)	9/19 (月・祝)
常盤座		「日本舞踊のしくさ」 10:00 A 12:00	「地歌舞伎・恵那文楽体験」 10:00 B 12:00	「東海道四谷怪談」発表公演 14:00 D
福岡ふれあい文化センター	「東海道四谷怪談」 13:00 D 17:00	「東海道四谷怪談」 10:00 D 17:00 「四畳半」 13:00 C 15:00	「東海道四谷怪談」 10:00 D 17:00 「四畳半」 13:00 C 15:00	「東海道四谷怪談」(四畳半) 10:00 C D 12:00
常磐神社 (雨天は高山小学校)			「キッズ」 10:00 E 17:00	「キッズ」発表公演 10:00 E 12:00 14:00 E

セミナー受講料は、セミナー紹介欄をご参照ください。

# SEMINAR

テーマ「伝統への挑戦」

## A 「日本舞踊のしくさ」

2009演劇CAMP in中津川の創作舞踊劇「狐の嫁入り」で話題をさらった日本舞踊家・演出家の竹内菊が演劇人のために日本舞踊のお扇子や手ぬぐいを使った所作を常盤座の舞台で指導します。

日時 **9/17 (土) 10時～12時** 会場 **常盤座**  
受講料 **一般/2,000円 学生/1,000円** ※見学無料 **定員 25名**

講師 **竹内 菊** (日本舞踊家、演劇CAMP in中津川名誉実行委員長)



昭和6年森田館(赤堀館吉)師に入門。17年師が赤堀流創設と同時に赤堀津る菊の名を許される。51年赤堀館吉師没後独立し、竹内菊として流派にとらわれない独自の公演活動を開始する。58年度都市文化奨励賞、平成2年度名古屋市民芸術賞、5年度愛知県芸術文化選奨文化賞、愛知県助ノ文化使節副団長としてのモスクワ公演、フランス、アメリカ、韓国、インドネシア、シンガポールなどで公演。平成11年名古屋市民芸術特賞。

## B 「地歌舞伎・恵那文楽体験」

全国有数の芝居小屋と保存会を有する中津川の地歌舞伎、恵那山麓に今も生き続ける恵那文楽。その指導者たちに独特の様式をもつ伝統芸能の魅力を紹介してもらいます。地歌舞伎の化粧や立ち回り、文楽人形の実演体験にご期待下さい。

日時 **9/18 (日) 10時～12時** 会場 **常盤座**  
受講料 **一般/2,000円 学生/1,000円** ※見学無料 **定員 25名**

講師 **中村津多七**



1950年、中津川市生まれ。1965年、天衣無縫の芝居絵画家「中川とも」と出会い、地歌舞伎(地芝居)、人形浄瑠璃(文楽)に興味を持つ。1968年17歳で、三代目 中村津多七、二代目高女に師事し、1969年中村津多七の名で初舞台を踏む。1977年、女流義太夫 豊竹駒之助から義太夫を習い始め、その後、恵那文楽の太夫を務める。

講師 **市岡甚吉**



昭和40年9月「恵那文楽保存会」入会。昭和55年4月「恵那文楽保存会」事務局長、平成4年に岐阜県指定人形浄瑠璃の修復などに尽力してきた。平成7年4月「恵那文楽保存会」会長就任以来、平成7年「第10回国民文化祭とちぎ」平成8年「国立文楽劇場第5回民俗芸能公演」平成10年、中津川ふるさと芸能文化保存協会、中村津多七(吉田茂美氏)の協力により、外題「関取千両巻」の復活。平成11年「第14回国民文化祭岐阜」平成13年「カナダ公演」平成18年 東京国立劇場 民俗芸能「中津川芝居」平成21年「フランス(リウ、ロワール市)公演」保存会の育成にも力を入れ、地域に住む小・中学生にクラブ活動として取り入れ伝承教室を開始。平成17年には、大阪国立文楽劇場において、第47回近畿・東海・北陸プロダクション民俗芸能大会で「子ども太夫功十段目」などを公演。

## C 「四畳半!～山の手事情社」

メソッド“四畳半”を考案し、歌舞伎やシェイクスピア演劇を上演し続ける山の手事情社。近年はヨーロッパ各地の海外公演でも注目される“四畳半”を地歌舞伎の里、中津川で初公開する。山の手事情社の中核俳優、浦弘毅(うら こうき)を講師に行う3日間の連続ワークショップ。

日時 **9/17 (土) → 19 (月・祝)** ※各日の時間はスケジュール表を参照 ※宿泊施設(有料)があります。お問合せ下さい。  
会場 **福岡ふれあい文化センター**  
受講料 **一般/5,000円 学生/2,500円** ※見学無料 **定員 25名**

講師 **浦 弘毅** (俳優)



1974年、福岡県生まれ。1998年より山の手事情社に入門。以降、山の手事情社本公演全作品に出演。劇団主催の演劇ワークショップの運営、講師を担当。千葉県、神奈川県、福岡県の高等学校の演劇ワークショップ講師、学校法人文化学院 非常勤講師。エンゼルゼナール講師、シアタープロジェクト香川 ワークショップ講師。

## D 演出家俳優養成セミナー「東海道四谷怪談」

アングラ演劇界の鬼才流山児祥が中津川で地歌舞伎に挑戦。仮名手本忠臣蔵の書き換えと言われる鶴屋南北作「東海道四谷怪談」を原作に、4日間の練習で斬新な成果を発表します。参加者にあらかじめテキストを渡し、事前に準備をしてもらい、会期中作品の稽古にあたり、最終日フィナールシアター(常盤座)で発表します。

日時 **9/16 (金) → 19 (月・祝)** ※各日の時間はスケジュール表を参照 ※宿泊施設(有料)があります。お問合せ下さい。  
会場 **福岡ふれあい文化センター(発表会:常盤座)**  
受講料 **一般/5,000円 学生/2,500円** ※見学無料 **定員 25名**

講師 **流山児 祥**



流山児★事務所代表、演出家、俳優。1947年熊本県生まれ。1970年「演劇団」旗揚げ以来小劇場運動のリーダーとして疾走し演出作品は250本を超える。1998年流山児★事務所を設立。語録作を国内外で上演その独自の演出美学は高い評価を得る。近年は「ライオネス」座等のシニア演劇運動の実践家として注目されている。代表作「狂人教育」「ピクノリア国際演劇祭グランプリ」「ハイライフ」「オール・ナンチ」(倉林誠一師記念賞)「ユリーナタウン」など。2009年流山児★事務所は第44回紀伊國屋演劇賞団体賞を受賞、日本演出者協会副理事長、日本劇団協議会理事。

講師 **鹿目由紀**



1976年福岡県宗善松市生まれ。劇団あおきりみかん主宰。南山大学文学部卒。名古屋在住。2008年、日本劇作家協会東海支部プロデュースの短編芝居「コバ」「劇王V」で優勝。第2009年、2010年とタイトル防衛を果たし、今年月に開催された「劇王V」で前人未踏の四連覇を達成。現劇王。2009年、2010年、若手演出家コンクール「優秀作連続受賞」。2010年、第16回日本劇作家協会新人劇賞最優秀賞を受賞。その他、芸術創造賞、愛知県文化賞など受賞回数多数。NHK「中学生日記」等のテレビドラマ、ラジオドラマの脚本、他劇団やプロデュース公演の作・演出を手掛けるなど、幅広く活動。

## E キッズと作る野外劇「トワワイルスタ」

子どもたちとともにワークショップを実施、最終日に発表します。恋人を失った少女が巨人マウンテン・あーとーと一緒に探に行く物語。お魚キョギョギョの群れをはじめ、大きな人形で演技してもらいます。

日時 **9/18 (日) → 19 (月・祝)**  
会場 **常磐神社(ワークショップ・発表会)** ※雨天の場合は高山小学校  
受講料 **1,000円(1名、材料費・テキスト代含む)** ※野外ですので、暑さ対策グッズをご用意ください。

講師 **木村 繁**

演出家、可変物体設計家。劇団前進座、東宝現代劇戯曲科で歌舞伎に染り人形劇団むすび座に入門。巨大包装紙の60min作品「裸海」(利賀フェスティバル)招聘オブジェクト(パフォーマンスシアター)、水人形を操る「七月王」(名古屋市民芸術祭審査員特別賞、同)、仕掛け筆筒の「水の宿」(銀座博品館劇場)、あいとりエンターレPP隊アーティスト(パフォーマンス作品など動く現代美術と批評される。文化庁舞台芸術創作奨励賞佳作をはじめに受賞多数、日本演出者協会理事。



## セミナー受講希望の方

受講したいセミナー名、氏名(ふりがな)、性別、年齢、住所、郵便番号、連絡先(電話、FAX、携帯電話)、E-mail、職業・所属(学校、劇団等)、宿泊施設案内(希望する、しない)を、FAX、郵送、Eメールのいずれかの方法で、ご連絡ください。連絡先は下記まで。

※日本演出者協会会員はすべてのセミナー、イベントに無料で参加できます。事前に参加予約を行ってください。  
※ご記入いただいた個人情報(「演劇CAMP in 中津川」のご案内のみ)に利用させていただきます。  
※受付時(受付後)に、お支払い方法をお知らせいたします。

### ◆ 新たな風を巻き起こす! 日本演出者協会理事長 和田 喜夫

全国各地の人が集まる「演劇CAMP in 中津川」もいよいよ3年目となりました。今まで出会う機会がなかった人や、表現が出会う素敵な場所を作りたいというのが最初の目標でした。自然に集まった地歌舞伎小屋や周囲の広場は、その実現のための最高の場所です。3月11日の大震災以降、社会の価値観を根本的に見つめ直す必要があると多くの人が語っています。そのために「集会所」が必要だということも言われています。中津川の劇場はまさに集会所であり続けています。今年も演劇だけでなく、音楽、舞踊、大道芸の公演があり、ワークショップや講座、そして交流会も企画しました。ぜひ、来て下さい!!



1951年山口県下関生まれ。早稲田大学在学中より演出を始める。文学座養成所を経て、1982年から11年間、劇作家岸田理生との共同作業を続ける。92年オーストラリアのアデレード、パース国際演劇祭で「赤地獄」を上演し絶賛を得る。01年よりオーストラリアやカナダの先住民の劇作家との共同作業を始める。また「在日」の演劇人との共同作業も多い。代表作に「赤地獄」「居留地姉妹」「ウィンブル・ベイビー」など。演劇企画集団 楽天団代表。日本演出者協会理事長。

### ◆ ごあいさつ

私が初めて加子母村にある明治座を母と訪れたのは、16年演じ続けているライフワークの一人芝居「横浜ローザ」の公演を終え昔から興味があった地歌舞伎を観に訪れた6年前の8月でした。あつという間に保存会の方や近くのおばちゃん達と仲良くなり、後日役場の依頼で学校に講演にも訪れるくらい親しくなりました。何よりも驚いたのは、「横浜ローザ」の美術家の川口直次氏にここで再会した事でした。川口氏は、この舞台の美術を学生達の研究の場にしていくということでした。そして一昨年9月私は一人で中津川を訪れ地歌舞伎に係る方達と偶然知り合い蛭子座、常盤座を訪れ、色々な方とお会いしました。観劇中になぜかつっぱりだされたり、市長さんと車に乗って行った先で植樹をさせていただいたり、とても楽しくこの地に住む人々の温かさややさしさに触れ益々この地が好きになり、伝統である地歌舞伎の魅力に引き込まれ、文化が生まれる心のふるさとづくりに私も参加したいと思いました。



昭和27年9月22日神奈川県横浜市生まれ。16歳の時横浜の県立青少年センターでの田村忠雄氏の演劇教室に参加し、野口三千三氏、米木一夫氏と出会い役者になるうと決意する。相朋学園演劇科に学び、早稲田小劇場を経て新国劇へ入団し、「鏡の母」「一本刀士権八」など、多くの作品に出演。代表作にひとり芝居「横浜ローザ」がある。昭和52年NHK朝の連続テレビ小説「いちばん星」でTV主役デビュー。「横浜演劇実行委員会」発足し、産長となる第1回横浜夢座公演「横浜演劇」などの発表。テレビでは「独眼龍正宗」「吉宗」他、映画では「DEATH NOTE」「ココロ・ママリ」「プライド」など、新国劇年間大賞、北条秀司賞横浜文化賞奨励賞、神奈川イメージアップ大賞、第29回松尾芸能賞 演劇優秀賞 第46回長谷川伸賞などを多数受賞歴あり。

## 文化庁委託事業「平成23年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

制作 日本演出者協会、2011演劇CAMP in中津川実行委員会、演劇CAMPなかつ川実行委員会  
共催 中津川市、岐阜自慢ジカブキプロジェクト  
協賛 中津川商工会議所  
後援 中津川市教育委員会、中津川市地歌舞伎連絡協議会、中津川市文化協会、福岡文化協会、付知町文化協会、坂下文化協会、川上文化協会、蛭川文化協会、加子母文化協会、山口・馬籠文化協会、中津川市商業振興連盟、日本劇作家協会東海支部

### 2011演劇CAMP in 中津川実行委員会

日本演出者協会理事長/和田喜夫 名誉実行委員長/竹内 菊  
実行委員長/木村 繁  
実行委員 / 青井陽治、秋葉舞滝子、大西一郎、岡本伸子、小熊ヒジメ、金子康雄、金田海鶴、鹿目由紀、神谷尚吾、川村ミチル、菅野直子、菊本健郎、小林七緒、齋藤敏明、佐久間広一郎、篠本賢一、鈴木弘文、外波山文明、林 英樹、はせひろひ、ふじたあさや、ほりみか、洪明花、水野誠子、宮田慶子、宮谷達也、流山児 祥 (五十音順)  
制作 / 加藤智宏 (office Perky pat) 事務局 / 斉藤由夏

スタッフ 舞台監督・照明 / 金子康雄 音 響 / 田口信三 (TSS音響サービス) イラストレーション / 黒田征太郎 デザイン / K2、(株)シャコー

演劇CAMPなかつ川実行委員会 代表 / 深谷明宏

## 《 東北の演劇人を応援します! 》日本演出者協会一同

お問い合わせ・申し込み先  
日本演出者協会、2011演劇CAMP in 中津川実行委員会 (11:00~18:00 土日祝休み)  
tel ▶ 03-5909-3074 fax ▶ 03-5909-3075 携帯 ▶ 090-1620-4591 (office Perky pat : 加藤)  
E-mail ▶ [engekicamp@gmail.com](mailto:engekicamp@gmail.com) ホームページ ▶ [2011演劇CAMP in 中津川](http://2011演劇CAMPin中津川/) で検索  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3階



おいでんさい地歌舞伎の里、中津川 演出家・俳優養成セミナー

イベント  
岐阜自慢ジカブキプロジェクト  
「青砥梅花紅彩画」白浪五人男  
天野鎮雄 山田昌隆座  
「虫たちの日」  
床絵美 (アリス歌謡)  
土善民 (フォークソング)  
小林裕博 (ジャズバンド)  
「どんぼんぼろ」  
「コメダイン」  
「コメディーニシアター」  
「ロケットパフォーマンシアター」  
「巨大人形」  
「恵那文楽保存会」(三番役)  
「日本演出者協会東海支部」  
「仮名手本忠臣蔵」ディレクター  
中村津多七  
「平塚直隆 オイスターズ」(お蔵入り)  
劇団そらのゆめ(ゆめたま)  
加子母本通り保存会(本通り音頭)  
「コラッセ」(加子母の歌)  
「SEND AI」座  
「十一人の怒れる男」  
日本演出者協会東海支部  
「七福神様」  
「流山児祥 鹿目由紀」  
「豊年踊り(ごいいます)」  
「丸の内プロテニス」 蛭川出なかり座  
「演劇CAMP in 中津川文化大使 五大路子」  
「セメント樽の中の手紙」  
「加子母の昔話」  
「キッズと作る野外劇「トワワイルスタ」」

2011年9月16日(金)~19日(月・祝) 岐阜県中津川市 常盤座、明治座、福岡ふれあい文化センター、常磐神社、にぎわい広場(アピタ前)

文化庁委託事業「平成23年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」  
制作:日本演出者協会、2011演劇CAMP in 中津川実行委員会、演劇CAMPなかつ川実行委員会 共催:中津川市、岐阜自慢ジカブキプロジェクト 協賛:中津川商工会議所  
後援:中津川市教育委員会、中津川市地歌舞伎連絡協議会、中津川市文化協会、福岡文化協会、付知町文化協会、川上文化協会、山口・馬籠文化協会、中津川市商業振興連盟、日本劇作家協会東海支部  
お問い合わせ:日本演出者協会(11~18時、土日祝のぞく) / 2011演劇CAMP in 中津川実行委員会 tel:03-5909-3074 fax:03-5909-3075 HP:2011演劇CAMP in 中津川 で検索 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3階